

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

	事業名	担当課名	ページ
1	観光振興推進事業	産業振興課	1
2	子育て世帯防災安心対策事業	危機管理課	3
3	不育症治療費助成事業	子ども青少年課	6
4	地域子育て環境づくり支援事業	子ども青少年課	8
5	子どもの健康を守り育てる子育て応援事業	健康・スポーツ課	11
6	公共交通充実事業	都市計画課	13

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

取り組みの概要(Plan)

先行型事業名	観光振興推進事業		担当課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります			
施策	施策2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化			
戦略事業名	観光振興推進事業			
目的	<p>当町には、全国唯一の八方除の守護神として信仰されている寒川神社が現存し、全国から毎年、約185万人が参拝に訪れている。</p> <p>しかし、美しく豊かな自然環境やカーネーション・スイートピー等の花き類、メロン・梨等の果樹類の生産が盛んであるものの、知名度は高くないのが現状である。このため、さがみ縦貫道路の開通をきっかけに、これらの魅力をPRし、交流人口の増加を目指す。</p>			
概要	<p>①観光リーフレット作成</p> <p>②さがみ縦貫道路北インター出入口観光案内板設置</p> <p>③さむかわ神輿まつり支援</p>			
事業費(円)	平成27年度 予算額	2,548,000	平成27年度 決算見込額	2,388,848

KPI (重要業績評価 指標)	観光入込客数(万人)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		187	215	207

取り組みの状況(Do)

事業の実施状況	<p>①高価なリーフレットではなく、気軽に配布できるもの(A4両面)を季節に応じて4種類(春夏号、夏秋号、秋冬号、冬春号)作成し、配布した。</p> <p>②さがみ縦貫道路の開通により、新たに寒川町を訪れる観光客の増加が見込まれるなかで、車で寒川町を訪れる人への歓迎の意を表すとともに、寒川町のイメージアップを図るために圏央道寒川北インターチェンジ出入口付近に観光看板を設置した。(平成28年2月9日完成)</p> <p>③7月20日の海の日に、寒川駅前公園でさむかわ神輿まつりを盛大に開催した。寒川駅前公園から寒川町商工会までの道路を通行止めにし、祭り囃子などを含めた神輿パレードを実施した。</p>			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算見込額
	観光リーフレット作成	県内外のイベントや観光キャンペーンなどで配付するA4両面のリーフレットを作成した。 12,000部(3,000部×4種類)	198,000	178,848
	観光案内板設置工事	さがみ縦貫道路北インター出入口付近に、寒川町をPRする看板を設置した。	2,200,000	2,160,000
	さむかわ神輿まつり補助	さむかわ神輿まつり実行委員会に対して補助金を交付するとともに、祭りの運営を支援することで、寒川町の魅力のPRと誘客を促進した。	150,000	150,000

取り組みの検証／内部評価(Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析</p>	<p>天候に恵まれなかったイベントもあったが、入込客数の多数を占める寒川神社の参拝客の増加により、全体では前年度と比較して増加傾向となっている。目標値を達成するためには寒川神社参拝客の増加は必要不可欠だが、その他イベントでも各団体と連携して、観光客数の維持、増加を図っていく。 ※今年度は目標値の設定基準に合わせるため、わいわい市への来場者数(総数の1/3)を加算した。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<p>①リーフレットの作成、②案内板の設置により観光PRの拡大に繋がったが、今後は町内での回遊性を持たせるために、各所を繋ぐマップ等の充実を図っていく必要がある。 ③神輿まつりについては、交通規制の徹底など実行委員会での反省点を踏まえて改善していく必要がある。</p>		
<p>内部評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 要改善</p>	<p><input type="checkbox"/> 抜本的な見直し</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>①今後、県内外のイベントや観光キャンペーンにおいて、寒川町に訪れてもらうためのきっかけとしてパンフレットを配布する。 ②町訪問者へ花・果樹の町との意識付けにつながっているが、町内における回遊性の拡大を図るため、観光協会では史跡めぐりなどの新たなガイドマップを作成する。 ③神輿まつりについては、さらに盛大に安全に開催できるよう、それぞれの団体としっかりと連携、準備を進めていく。</p>		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

<p>KPIに対する事業の効果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有効であった <input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった</p>		
<p>内部評価に対する評価</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当では無い →</p>		
<p>外部委員会からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東参道構想等の取り組みも打ち出してもらいたい。 ・イベント型だけではなく総合的に観光振興を進めてほしい。 ・わいわい市を中心として拠点化に積極的に取り組んだ方がよい。 ・寒川神社の3が日は、駐車場の運営体制を考慮していただきたい。 ・ネットの活用して情報を日々打ち出した方がよい。 ・神輿まつりでは、会場が手狭なので中央公園も含め検討してほしい。 ・神輿まつりでは、神輿に触れるなどの時間をもうけてほしい。 ・観光案内板の周辺の雑草の対応と花の町に来たと思えるような工夫をされた方がよい。 		

取り組みの改善(Action)

<p>外部委員会からの意見を踏まえた取り組み</p>	<p>観光振興については、より魅力的な観光地とするため、寒川神社を核とした新たな観光拠点に係わる検討を関係機関とともに話し合いながら進めることはもとより、県内外のイベントや観光キャンペーンにおいて、寒川町に訪れてもらうためのきっかけづくりとして各種観光パンフレット等を配布していくとともに、ホームページやSNS等、新たなネット環境の活用も視野に町の観光情報をより効果的に発信していく。 また、町観光分野においては「回遊性の確保」が大きな課題であることから、観光協会をはじめとする関係各機関との連携を図り、町内各所を繋ぐマップ等作成など回遊性の拡大を図るための取り組みを進める。 「さむかわ神輿まつり」では、多くの町民がより参加しやすいものとなるよう、実行委員会とともに、お祭りの運営方法の改善・検討にも取り組んでいく。</p>
----------------------------	---

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

取り組みの概要(Plan)

先行型事業名	子育て世帯防災安心対策事業		担当課名	危機管理課
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくれます			
施策	施策3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実			
戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業			
目的	働く親が安心して子どもを育てられるように、子育て世帯に対し防災意識の高揚を図るため、子育て世帯防災対策講習会を開催し、日頃の備えの重要性を周知するとともに、災害への不安を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進する。			
概要	子育て世帯防災対策講習会の開催 防災意識の高揚を図るための広報			
事業費	平成27年度 予算額	1,143,000	平成27年度 決算見込額	844,560

KPI (重要業績評価 指標)	自助の観点から幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯率(%) (※H26現状値は、厚生労働省「平成23年度国民健康・栄養調査」における非常用食糧の用意の有無から参照)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		47.4※	50	54.1

取り組みの状況(Do)

事業の実施状況	<p>子育て世代を対象にした「防災ハンドブック」や、乳幼児がいる家庭に必要な非常食や心構えを記載したチラシ・ポスター、災害時に子どもに大きな影響を与えかねない食物アレルギーへの備えを記載したチラシ・ポスターを作成した。また、幼児用非常食として、町内にある保育所・幼稚園等に在籍する園児数分の保存用ビスコを購入し配備した。</p> <p>町内保育所3園と連携し防災講演会を開催することにより、子育て世代が防災について考える機会を提供するとともに、防災意識の向上について、共通の認識を持つことを目的に作成したハンドブックやポスター・チラシを配布した。</p>			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算見込額
	幼児用災害時非常食整備	災害時における備蓄品等の整備を推進するため、町内各園に幼児用災害時非常食(保存用ビスコ)を対象園児数分配付することで、町内8園の防災意識の高揚を図った。 ・保存用ビスコ3,000食	500,000	499,500

	<p>防災ハンドブック、ポスター・チラシの作成と掲示・配布による防災意識啓発</p>	<p>◆子どもの命を守ることを目的に子育て家庭を対象としたハンドブックを作成し、講習会等で配付することで子育て家庭の災害への不安を軽減すると共に、防災意識の高揚を図った。 ・防災ハンドブック3,000冊</p> <p>◆乳幼児に関する災害時の備えや、災害時におけるアレルギー食対策についてのポスター、チラシを作成し、災害時の備蓄品等についての意識啓発を図った。 ・チラシ3,000枚 ・ポスター100枚</p>	643,000	345,060
	<p>防災講習会「子育て家庭の防災対策」の実施</p>	<p>作成したハンドブック等を使用して、子育て家庭を対象に町内保育所3園で講習会を開催し、日頃の備えの重要性を周知するとともに、災害への不安を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進した。 ・保育所3園参加者89名</p>	/	/

取り組みの検証／内部評価(Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析</p>	<p>子育て家庭の防災アンケートを行った結果、364家庭のうち197家庭が食料に関して備蓄しているとの回答があった備蓄をしていない家庭のうち、約半数が備蓄方法や量が分からないとの回答だったため、アルファ化米等の備蓄用食料に固執しなくてもよい、ローリングストック法等の普及が必要と考える。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<p>子育て家庭は、防災訓練や防災講演会などに参加しづらく、これまで防災についてあまり積極的でなかったが、防災について考えるきっかけを作ることができた事についてメリットがあったと考える。今後においても防災講習会の開催方法や防災についての情報を周知する方法について、より多くの方に参加、周知できるように検討する必要がある。</p>		
<p>内部評価結果</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き町内保育所・幼稚園等と連携しながら講習会を実施し、不安や疑問の解消に努めるとともに防災意識の向上を図っていく。 また、今回作成したハンドブックやポスター・チラシについては、講習会以外にも町で行われる他のイベントや各団体の依頼等により広く配布し、子育て世代を中心に町民が防災について考える機会を提供していく。</p>		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

<p>KPIに対する事業の効果</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有効であった <input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった		
<p>内部評価に対する評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当では無い →		
<p>外部委員会からの意見</p>	<p>・講習会のやり方で、乳幼児など健診などの場を使うなど、多くの人に情報が行き渡る工夫が必要である。</p>		

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた取り組み

子育て世帯における防災意識の向上を図るため、引き続き、町内保育園・幼稚園等と連携しながら引き続き講習会を実施し、不安や疑問の解消に努めていく。

講習会等の開催にあたっては、対象である子育て世帯は、小さい子ども連れとなることにより地域の防災訓練をはじめとする町イベントには参加しづらい状況も想定されることから、子育て世代が中心となって参加する行事や乳幼児健診等の場を活用するなど、多くの人に情報が行き渡るように工夫に努める。

また、今回作成したハンドブックやポスター・チラシについては、町で行われる他のイベント等においても広く配布しながら周知を図り、子育て世代をはじめ町民が防災について考える機会を提供していく。

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

取り組みの概要(Plan)

先行型事業名	不育症治療費助成事業		担当課名	子ども青少年課
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります			
施策	施策3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実			
戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業			
目的	少子化対策の充実を図るため、不育症に悩む夫婦に対して、治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することで、出生率の向上を図る。			
概要	治療にかかる費用を個人に対して助成(補助率1/2、上限20万円)			
事業費	平成27年度 予算額	400,000	平成27年度 決算見込額	0

KPI (重要業績評価 指標)	不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊 娠安定期に結びついた人数(人)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		0	2	0

取り組みの状況(Do)

事業の実施状況	<p>不育症治療費助成事業予算については、既に実施している近隣市町村の実績を基に2名分の予算計上をしているが、8月に申請書を受け取りに来庁した方が1名いたのみで提出には至っていない。</p> <p>不育症は、国でも研究段階であるため、助成制度の対象として町が指定する医療機関は、厚生労働省不育症研究班に属する医療機関及び同等の能力を有する医療機関の中から指定について承諾いただいた医療機関としている。</p> <p>この制度の周知については、制度開始時に町広報とHPへ掲載した。また、不育症治療を行う家庭には、制度の対象医療機関等を通して周知がなされた。</p>			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算見込額
	不育症治療費助成事業	補助率1/2、上限20万円	400,000	0

取り組みの検証/内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価 指標)の達成状 況に関する分析	<p>助成件数は、県内他市町の実績から年間1~2件程度を予想していたので、実績なしの可能性も十分に考えられる。なお、助成制度の対象となる医療機関は限られており、不育症治療自体の治療期間も長いことから、制度開始後の実績として現れるまでには、相応の時間を要するものとする。</p>
--------------------------------------	--

取り組みの課題	不妊治療費も含め、保険適用の検討に対する意見が様々でいることと市町村の制度の導入の有無や額・回数などそれぞれの財政状況により違いがある。本来は、国の制度として、一律な対応が必要である。		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	<p>申請書を取りに来た方の話によると、医療機関も限られていることからすぐに治療ができないとのことで、8月に予約をして初診は11月なるとのことであった。この様な現状を踏まえると申請は、1治療期間が終了した後となるため、28年度中の申請は難しいと思われる。(不育症の診断を受けているかも不明)</p> <p>不育症のリスク因子は様々だが、検査や治療を受けることで80%程度の方が子どもを産むことができる結果も出ていて、効果は高い事業と考えている。毎年1~2件程度の申請となる見込みだが、引き続きしっかりと医療機関等を通じ周知していく。</p>		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input checked="" type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当では無い →
外部委員会からの意見	・安心な部分として、制度が必要な人が現れた時に対応できるようにしておくことが重要である。	

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた取り組み	当事業は、毎年1~2件程度の申請となる見込であるものの、必要な方が現れた時に対応できるよう備えておくことが重要であるとともに、不育症のリスク因子は様々ある中で、検査や治療を受けることで80%程度の方が子どもを産むことができる結果も出ており、取り組みの効果は非常に高い事業であることから、医療機関等を通じた周知徹底を図りながら、引き続き取り組みを進めていく。
----------------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

取り組みの概要(Plan)

先行型事業名	地域子育て環境づくり支援事業		担当課名	子ども青少年課
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります			
施策	施策3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実			
戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業			
施策	施策5 子育てを応援する地域社会の実現			
戦略事業名	子育て応援環境整備事業			
目的	地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進するとともに、良好な保育環境を確保し、子育て支援の充実を図る。			
概要	①地域子育て支援を行うボランティア団体等の活動の立ち上げや地域の実情に応じた創意工夫のあるきめ細かな子育て支援活動に対する補助(上限30万円) ②町の基準に該当する保育施設等の環境改善を図るための費用を補助 ③児童クラブの運営を行う子育て支援団体に対し、立ち上げに要する必要な費用を補助			
事業費	平成27年度 予算額	5,369,000	平成27年度 決算見込額	5,068,820

KPI (重要業績評価 指標)	乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率 (%)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		—	16	16
	子育て支援に関する団体等への支援数(件)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		0	2	1

取り組みの状況(Do)

事業の実施状況	①子育て支援団体として積極的に活動している団体は、把握する限り町内に2団体しかいないことから、27年度より町民提案型の協働事業として、地域子育て環境づくり支援事業を開始した。現状としては、NPO立ち上げのための申請が1件あり、創意工夫ある子育て支援事業については、問い合わせが5件あったものの申請には至っていない。 ②寒川町保育環境充実事業費補助金交付要綱に基づき補助金を交付。良好な保育環境の確保と保育施設の環境改善を図った。 ③昨年度新たな子育て支援の団体が立ち上がり、5つの児童クラブの運営を受託した団体に対し、必要な備品の購入に対する補助を行った。
---------	--

主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算見込額
	地域子育て環境づくり支援事業	<p>①寒川町地域子育て環境づくり支援事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。</p> <p>補助対象 次の全てを満たす団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内を拠点として活動する団体 ・5人以上で構成される団体 ・構成員の半数以上が町内在住、在勤又は在学の者である団体 <p>補助対象 次のいずれかの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援を行うボランティア団体等の立ち上げに伴う事業 ・地域の実情に応じた創意工夫のある取り組みのある子育て支援事業 <p>補助金額 補助対象経費の合計額のうち30万円を限度</p>	600,000	300,000
	保育環境改善事業	<p>寒川町保育環境充実事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。</p> <p>〈補助対象〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月1日以降に事業を開始する認可保育所に対して、既存の認可保育所と同程度の備品を購入するための経費 ・平成27年3月31日までに事業を開始している認可保育所に対して、ミストシャワーを設置するための経費 	3,800,000	3,799,820
	児童クラブ運営事業	<p>③寒川町放課後児童クラブ運営事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。</p> <p>〈補助対象〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの運営を行う子育て支援団体に対し、運営に必要な備品の購入に要する経費 	969,000	969,000

取り組みの検証／内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	①この補助金をきっかけに、立ち上げに至った団体があったことから、今後も継続して行く必要がある。②、③は、新規立ち上げに伴う運営に必要な補助が主となっており、それぞれ順調に運営を開始することができた。		
取り組みの課題	①町広報の活用や自治会長連絡協議会等を通じて、周知に努めた。更に周知に努めていく必要がある。②、③は特になし		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し

今後の取り組み	<p>①問い合わせの中には、この補助金制度をきっかけとして、27年度中に団体を立ち上げ、28年度の活動実施を目指しているグループも有り、金銭的な理由により実現に至らなかった「思い」を持った方も多くいるものと思われる。この地域子育て環境づくり支援事業を周知していくことで「思い」の掘り起こしと町民と町が、自治の担い手として地域課題の解決に向け、それぞれの責任を果たしながら連携していくことにより、協働のまちづくりを推進していくことを目指す。</p> <p>②平成27年度は待機児童解消のために新設の認可保育所に対して補助金を交付し、保育環境の改善を図ったが、今後は既にある認可保育所3園の施設に老朽化が進んでおり早急に修繕をする必要があるので、順次大規模修繕を実施する園に対して補助金を交付し、保育環境の改善を図る。</p> <p>③備品の購入に対し補助していることもあり、1団体に対し1回限りの補助である。今後新たな団体が児童クラブの運営を受託しない限り補助する予定はない。</p>
---------	---

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input checked="" type="checkbox"/> 有効であった <input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当では無い →
外部委員会からの意見	<p>・放課後の子どもたちの選択の幅を広げるような、いろいろな年代や大人が関わる居場所について一歩踏み込んで考えてほしい。</p> <p>・運営について、小1・小4ギャップなどにより仕事が寸断されないように戦略的に考えて行く必要がある。</p>

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた取り組み	<p>地域子育て支援を行うボランティア団体等に対する補助については、当制度を契機に団体を立ち上げまたは経済的事情により設立までは至らなかったものの、活動実施を目指しているグループも存在していることから、引き続き補助制度を確立・周知していくことで、自治の担い手として地域課題の解決に向け、それぞれの責任を果たしながら連携して協働のまちづくりを推進していく。</p> <p>また、保育環境の改善のための補助制度については、今後は、既存の認可保育所3園の老朽化が進んでおり、早急な修繕を要することから、順次大規模修繕を実施する園に対して補助を行い、引き続き保育環境の改善を図っていく。</p> <p>さらに、児童クラブの運営を行う団体に対し、立ち上げに要する費用の補助については、1団体に対し1回限りであるが、その運営にかかるサポート等、団体による円滑な運営が図られるよう連携して取り組みを進めていく。</p> <p>また、いわゆる小1・小4ギャップと言われる児童の放課後における居場所の確保という課題にも、検討事項として取り組んでいく。</p>
---------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

取り組みの概要(Plan)

先行型事業名	子どもの健康を守り育てる子育て応援事業	担当課名	健康・スポーツ課
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくれます		
施策	施策3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実		
戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業		
目的	子どもの健やかな成長を支え、乳幼児期における子育ての不安を解消し、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援の充実を図る。		
概要	乳幼児期の歯と口腔の健康づくりを行う幼児歯科相談等実施		
事業費	平成27年度 予算額	844,000	平成27年度 決算見込額
			787,884

KPI (重要業績評価 指標)		H26現状値	H27目標値	H27実績値
	3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合(%)	83.8	84	79.5

取り組みの状況(Do)

事業の実施状況	<p>平成25年度において、う蝕罹患率が1歳6か月児健康診査では1.4%であるのに対し、3歳6か月児健康診査では19.8%に増加していた。</p> <p>子どもの健やかな成長を支えるためには、乳幼児期に適切な、はみがき習慣や食習慣、生活習慣を確立し、う蝕を予防することが必要である。</p> <p>平成27年度から、2歳児歯科相談の来所勧奨、ブラッシング指導、食育指導を強化し、来所率は、72.2%となった。</p>			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算見込額
	2歳児歯科相談	<ul style="list-style-type: none"> ●保健師による、発育・発達の確認と生活相談を実施した。 ●う蝕予防、歯と口腔の健康づくりの知識普及のため、歯科衛生士による歯科相談とブラッシング指導を実施した。 歯科衛生士 3人×12回 ●栄養士による、幼児食やおやつとの与え方についての集団指導と栄養相談を実施した。 栄養士 2人×12回 ●発育状況確認のため身体計測を実施した。 看護師 1人×12回 ●ブラッシングの習慣化の啓蒙普及のため、フッ素入りハミガキジェルと幼児用歯ブラシを配布した。 ハミガキジェル 300本 幼児用歯ブラシ 300本 ●歯みがき習慣の確立及び良い食習慣の確立のため、保護者に歯の健康について説明し小冊子を配布した。 小冊子 1,200冊 	844,000	787,884

取り組みの検証／内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価指標)の達成状況に関する分析	H27年度の3歳6か月児健康診査対象児(318人)の保護者には、幼稚園・保育所経由で歯の健康小冊子を配布したが、う蝕のない児の割合は、過去5年間の平均値79.1%と同レベルの79.5%となり、小冊子の配布だけでは、効果が得られなかった。		
取り組みの課題	H27年度の3歳6か月児健康診査で、う蝕のない児の割合が目標を達成できなかったことは、健康診査時だけでなく、妊娠期からの切れ目ない個別歯科保健指導の継続が重要と考える。H27年度から、2歳児への個別指導の他、7か月児相談、子どもの歯科相談、1歳6か月児健康診査で、個別はみがき指導と食育指導を強化しており、これを継続する必要がある。		
内部評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	できるだけ多くの幼児と保護者に適切な習慣を身につけてもらうため、歯科保健指導を魅力あるものとし、来所率を高めることが必要であることから、歯科医師の診察を加えた2歳児歯科健康診査とする。 また、妊娠期から幼児期まで、その時期の特徴を捉えた歯科保健指導及び食育指導を継続して行う。		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input checked="" type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当では無い →
外部委員会からの意見	・事業効果が現れていない部分については引き続き事業結果をみて検証していく必要がある。	

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた取り組み	<p>できるだけ多くの幼児と保護者に適切なう蝕予防の習慣を身につけてもらうため、歯科保健指導を魅力あるものとし、来所率を高めることが必要であることから、これまでの歯科相談事業から歯科医師の診察を加えた2歳児歯科健康診査を実施していく。</p> <p>また、2歳児歯科健診は平成28年度からの取り組みであり、その効果の検証については、一定期間時間を要すことから、しかるべき時期において検証をあらためて実施するものとする。</p> <p>さらに、歯科健診以外の妊娠期から幼児期までの、その時期の特徴を捉えた歯科保健指導及び食育指導も継続して行っていく。</p>
---------------------	--

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
平成27年度の取り組み(地方創生先行型事業)

取り組みの概要(Plan)

先行型事業名	公共交通充実事業		担当課名	都市計画課
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります			
施策	施策8 より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備			
戦略事業名	公共交通環境整備事業			
目的	移動支援が必要な住民の生活交通の確保及び交通不便地域の解消を図るためのコミュニティバス運行事業の更なる充実を図る。			
概要	町内を巡るコミュニティバス「もくせい号」に関して、新たに土・日曜日の運行も加えた運行形態とする経費			
事業費	平成27年度 予算額	7,500,000	平成27年度 決算見込額	6,914,403

KPI (重要業績評価 指標)	コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数(人/日) ※平成26年度コミュニティバス平日運行乗降客数(土・日曜日運行を平成27年10月から開始)	H26現状値	H27目標値	H27実績値
		207※	113	121 (参考平日203)

取り組みの状況(Do)

事業の実施状況	コミュニティバス「もくせい号」は、少子高齢化等の社会的背景や住民ニーズ等を受けて、移動支援が必要な住民のため、及び町内の交通不便地域の解消のために運行している。住民ニーズの高かった土・日曜日の運行を平成27年10月1日から実施し利便性の向上を図った。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	平成27年度 予算額	平成27年度 決算見込額
	コミュニティバス運行委託 (小・中型の土日運行分)	コミュニティバスの土日運行委託 東ルート(中型車):11便/日 倉見・大村ルート(小型車):12便/日 南ルート(小型車):4便/日	7,500,000	6,914,403

取り組みの検証/内部評価(Check1)

KPI (重要業績評価 指標)の達成状況に関する分析	土日運行を開始して半年であるため、今後の経過を見る必要がある。 一日あたりの土日の利用者を平日の55%と見込んでいたが半年の期間ではあるが60%となった。
----------------------------------	--

取り組みの課題	運行の効率化やサービス水準向上と運行形態の見直し等、利用促進策を講ずる必要がある。		
内部評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
今後の取り組み	利用者増を図るため、引き続き、広報による毎月の利用状況、イベント等による啓発活動、パンフレット配布等を行う。また、事業推進にあたっては、町・交通事業者・住民がそれぞれの役割を担うことが重要であることから、地域公共交通会議の中で定期的にPDCAサイクルに基づいて改善を図る。		

取り組みの検証／外部評価(Check2)

KPIに対する事業の効果	<input checked="" type="checkbox"/> 有効であった	<input type="checkbox"/> 有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 適当では無い →
外部委員会からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な運営を意識したやり方をしてほしい。 ・地域公共交通会議に当委員会の意見を伝え改善にいかしてほしい。 ・駅の中に時刻表やルート看板の設置など利便性を向上させてほしい。 	

取り組みの改善(Action)

外部委員会からの意見を踏まえた取り組み	<p>利用者増を図るため、引き続き、広報による利用状況のお知らせ(コミュニティバスの認知度向上)やイベント等による啓発活動をはじめ、パンフレット等の配布、町内JR相模線の各駅(寒川駅は設置済み)にバスの時刻表やルート案内板の設置なども進める。</p> <p>また、事業推進にあたっては、町・交通事業者・町民がそれぞれの役割を担うことが重要であることから、それぞれが構成員となっている「地域公共交通会議」において、定期的にPDCAサイクルに基づき改善を図りながら、持続可能な運営を念頭に、より使いやすい公共交通の実現を目指していく。</p>
---------------------	---